事業報告書補足資料

≪平成２８年度共同設置者が主体となって実施した中心市街地活性化事業≫

【水戸商工会議所】

（1）街づくり・マネージメント共同研究会Ⅱ

本共同研究会は平成 14 年度に、中心市街地の先導的経営者とそれをサポートする行政・コンサルタントなどで構成され「個」の深化・発展から「街」の充実・発展を目指す目的で個店強化事業として設立。

平成 17 年度にメンバーの一部入れ替えを行い、現在は研究会Ⅱとして活動をしている。

① 研修会

実施日：平成２８年６月２３日
場　所：山口楼
テーマ：「水戸どまんなか再生プロジェクトの現状について」
講　師：水戸どまんなか再生プロジェクト　求心力のある都市開発 WG　グループリーダー
㈱エイプラス・デザイン　代表取締役　佐藤　昌樹氏

② 視察研修会

実施日：平成２９年２月１０日～１１日
視察先：長崎県佐世保市・波佐見町
（佐世保市三ヶ町・四ヶ町商店街／栄・常盤地区第一種市街地再開発地区／西の原）

（2）三店ものがたり

実施日：平成２９年３月３日～３月５日
内容等：中心街の店舗による個店販促イベントおよび参加店舗共通イベント（参加店舗等を回るスタンプラリーを実施）による顧客の回遊により街なかの賑わい創出を図った。今回は、スタンプの押印を商品の購入者限定にすることによって、より消費喚起を促す結果となった。
参加店舗数：１２店舗

（3）商店会支援・関係機関等連携事業

中心市街地商店会長との懇談会を開催し、これからのまちづくりについて意見交換を行い、情報の共有化を図った。

（4）水戸まちなかナビの運営（ＩＴ活用事業）

中心市街地における街づくりやイベント情報、商店会活動、空き店舗、中心街での各種団体の活動など中心市街地におけるさまざまな情報、街なかの魅力を積極的に発信し、広く一般市民の中心市街地への興味と街づくりに関する意識の向上に繋げた。また、「まちなかファンクラブ」のフェイスブックページ、ツイッターの開設に伴い、トップページのレイアウトを大幅にリニューアルし、視認性を高め、よりわかりやすいサイトになった。

（5）水戸まちなかファンクラブ

水戸の中心市街地に興味を持つ一般消費者を募集。会員数は５１０名（H29.3.31 現在）。

① 水戸まちなかゼミ

中心市街地の店主などが講師となり、店舗や公共施設などを会場に、ためになる専門知識をはじめ、プロならではの技術やコツを受講料無料で提供。泉町二丁目商店街振興組合の「まちカル」と連携したことで、一層充実した内容となった。

実施日：平成２８年９月１日～１０月２日　５６講座　４６７名
平成２９年２月４日～　３月５日　５９講座　５４５名

② 水戸まちなかファンクラブ通信　年２回発行

③ 水戸まちなかファンクラブログ、SNS（Facebook、twitter）　随時

（６）学生サポーターＣ’ｓ

平成１７年１１月に結成した、水戸の大学生らによる中心市街地活性化を支援する団体。

学生の主体的な運営を尊重しつつ、学生そして若者の視点からの中心市街地活性化事業への協力を得ている。

① まちなか回遊記

大学生にまちなかを散策してもらう事で、まちなかの魅力を発見してもらい、まちなかを利用するきっかけづくりとするために、散策イベントを開催。

第１回：平成２８年７月１６日　８名
第２回：平成２９年３月　９日　７名

② 「南町ハロウィンイベント」への協力

南町３丁目商店街振興組合が開催した「南町ハロウィンイベント」に協力。総合司会や仮装コンテストの運営を担当した。

実施日：平成２８年１０月２９日
場　所：南町３丁目イベント会場
参加者：７人

③ 茨城大学内に「まちなか情報インフォメーションコーナー」を設置

④ フェイスブック・ツイッターの実施

（７）水戸芸術館との連携事業

まちと芸術を融合させることにより、中心市街地のイメージアップと交流人口の拡大、他都市との差別化を図る。

① 「水戸路上観察　街なか展示」

実施日：平成２９年３月１８日～５月１４日
内　容：水戸芸術館「藤森照信展―自然を生かした建築と路上観察」に合わせて、３月 18 日から「水戸路上観察　街なか展示」を実施した。11 月５日～６日開催の水戸路上観察学会ワークショップに提出された、水戸に存在する、おもしろい建物や看板などの建築物または風景の写真を同会員が審査。選出された作品および同会員の作品を中心市街地の５カ所に展示し、街なかを回遊していただくことで、中心市街地の賑わい創出と水戸の魅力の再発見に繋げた。

（８）街なか環境整備事業

① 水戸まちなか冒険遊び場創造事業

実施日：平成２９年１０月２２日
内　容：コンパクトシティを目指す上で、安心安全で子育てができる環境が重要であるが、中心市街地には、街区公園が１つしかなく、子どもたちが外で遊べる場所が不足している。さらに、今の子どもは、さまざまな制約がある中でしか遊ぶことができない状況になっている。そこで、大自然が残る千波公園西の谷で、子どもたちに自分の責任で自由に遊ぶイベントを開催することで、西の谷の周知を図るとともに、子どもの豊かな心をはぐくむ環境を整えるきっかけをつくり、将来のまちなか居住の促進につなげた。

（９） コンパクトシティを推進するための機運醸成事業

① 水戸市中心市街地活性化基本計画に関する資料の周知

人口減少、少子高齢化社会をむかえるにあたって、現在のインフラ網を維持することが難しくなることが予想され、中心部に都市機能を集積し、歩いて生活ができるコンパクトシティが重要になってくる。

平成２８年７月に水戸市中心市街地活性化基本計画が内閣府の認定を受けた。そこで、その計画に関する資料等を印刷して、その説明をする機会を設けた。

② まちづくりシンポジウム

実施日：平成２９年２月２４日

場　所：エクセルホール

基調講演

講　師：バルニバービ 代表取締役社長　佐藤 裕久氏

パネルディスカッション

テーマ：「楽しいまちづくりシンポジウム～７年後の水戸～」

パネリスト：（株）バルニバービ代表取締役社長・佐藤 裕久氏／水戸市長・高橋 靖氏／
（株）まちづクリエイティブ代表取締役・寺井 元一氏／
アトリエ・ワン・貝島 桃代氏

（１０）まちづくり会社調査研究・連携事業【新規】

認定水戸市中心市街地活性化基本計画の民間主体の事業などを実現するためには、まちづくり会社が必要。そこで、正副会頭、各委員長によるまちづくり会社検討懇談会を設置。会議所内でのコンセンサス形成を図るために調査研究・協議を重ねた。その結果、会議所としてまちづくり会社に出資することが決定し、会議所関係者を中心に 11 月 1 日に「㈱まちみとラボ」が設立された。

１２月８日には設立記念祝賀パーティを開催。パンフレットも作成し、認知度を高めた。３月には水戸まちなかビジネスプランコンテストおよび調査事業が実施された。

認定水戸市中心市街地活性化基本計画で取り組む事業の実施主体の１つとして、実効性のある事業に取り組むまちづくり会社を設立し、連携をとりながら事業を行うことで、中心市街地活性化に繋げた。

（１１）まちなか食工房事業

中心市街地にある参加店を巡るスタンプラリーを開催することで、参加店の魅力をＰＲするとともに、市民や観光客などの回遊性を高め、中心市街地の賑わいの創出を図った。

実施日：平成２９年２月２５日～３月１２日

場　所：中心市街地２０店舗

内　容：中心市街地にある和洋菓子、スイーツ、パンなどを製造販売する参加店で、対象の商品を購入するとスタンプを押印。異なる 3 店舗でスタンプを集め、感想などの必要事項を記入の上、応募すると、抽選で合計 125 人に商品が当たるというもの。
また、期間中に店舗ごとに設定された条件を満たすと、割引などのサービスも受けられた。

（１２）新しいしくみによるまちづくり研究事業

① 先進地視察研修会

実施日；平成２８年９月３日～４日

視察先：青森県八戸市、岩手県紫波町（八戸ポータルミュージアムはっち／オガール紫波）

（１３）まちの駅みとネットワーク協議会

平成 20 年 4 月 26 日より中心市街地の個店および専門学校などが参加する「まちの駅みとネットワーク協議会」をスタート。情報発信拠点、憩いの拠点としての効果を図るとともに、ネットワークを活用した各駅提案によるおもてなし事業を行っている。

① 「お茶は茨城。食も茨城」に出展

まちの駅のＰＲと、中心市街地の賑わい創出を図ることを目的として、水戸芸術館広場で行われた『お茶は茨城。食も茨城。』のブースで、各まちの駅紹介パネルとまちの駅全体マップパネルの展示を行った。また、まちの駅おもてなしスペースとして、テーブル・パラソル・ベンチを設置。ティーエキスパート協会による紅茶やお菓子の提供、フルートアンサンブルの演奏を行った。

実施日：平成２８年１０月１５日

【ＮＰＯ法人　茨城の暮らしと景観を考える会】

講演

・６月２４日（金）　土地条件と自然災害 ～何が被害を甚大にしたか～（GRI）
・９月１７日（土）　街を使い倒して街を再生する ～その土地の衣食住を満喫しよう～
（日本再生フォーラム）
・１０月　６日（木）ＮＰＯによる茨城の地域活動 ～街を使い倒して街を再生する～（筑波大学）
・１０月２０日（木）景観整備機構としての取り組み（全国景観会議関東甲信越ブロック会議）
・１２月　９日（金）弘道館・水戸城跡周辺地区 ～歴史まちづくり散策のご案内～（茨城経営クラブ）
・　１月３０日（月）建設系 NPO 法人にとっての助成金適用の現況と課題
（シビル NPO 連携プラットフォーム）
・　２月２７日（月）三の丸の歴史とまちの風景 ～三の丸らしい景観ってなんだろう？～（三の丸地区）
・　３月　４日（土）ふるさと原理主義 ～浪漫主義的歴史観・幕末の水戸編～（日本再生フォーラム）